

令和2年度（2020年度） 社会福祉法人 鈴鹿福社会 事業報告



鈴鹿グリーンホーム公式ホームページ

令和2年度は、目標を“6つの方針”と“16のチャレンジ・アクションプラン”とし、各部門において次のとおり取り組みました。

※各評価

“6つの方針” “地域に信頼されるべき存在であり続けるために” ～超高齢化・生産年齢人口急減社会に向かって、質の向上と効率化(生産性向上)の調和を図る～		
I.組織人としての素養の 具有 >人事考課制度・目標管理制度における評価指標、透明性の高い評価システム	II.理論と根拠に基づいた サービス提供 >科学的・医学的知見やデータ、研修受講等によって学んだ知識を用いた業務	III.テクノロジーの利活用 >ICT・モバイル・機器・AIの利活用(最終目標:IoT化)
IV.業務の分担化 >高齢者・障がい者・就労が困難な方、介護未経験者等の雇用推進	V.見える化の徹底 >ホームページや広報誌、事例報告等により、積極的に中身や魅力を発信	VI.U-17のある職場形成 >しっかりとした知識・技術の中にも、明るくU-17のある職場風土

“16のチャレンジ・アクションプラン”			
(1)口腔ケア >「口から食べる」との維持・継続を目標としたケアを実施します	(5)機能訓練・生活リハビリ(歩行含む)・介護予防・健康づくり >「機能の維持・回復」「介護予防」「健康づくり」を進めます	(9)エッセイ >「1日24時間の生活」をテーマとします	(13)非常災害対策 >「福祉避難所運営」「D-WAT参画」に向けて行動します
(2)水分・栄養ケア >「口から食べる」と「楽しみ」を大切にしたいケアを行います	(6)床ずれケア >「発生予防」「悪化防止」「改善」を行います	(10)連携・共生・貢献 >「地域連携」「医療連携」「多職種連携」「多業種連携」「地域との共生」を図ります	(14)ICT(情報通信技術)・モバイル・機器(モニタリングカメラを含む) >「テクノロジー」を活用したケアを行います
(3)排泄ケア >「気持ちよく」「尊厳が保たれた」ケアを行います	(7)看取りケア >「終末期」を多職種でサポートします	(11)拘束ゼロ >「身体的拘束は原則ゼロ」とします	(15)人材育成・活用 >育成と「介護業務の分担・細分化」「働き方改革」を進めます
(4)認知症ケア >「医学的・科学的知見を踏まえた」ケアを行います	(8)ケアマネジメント >「PDCAサイクル」に基づいた「活動」「参加」に配慮したご本人視点のプランを共につくります	(12)経営マネジメント >「経営の4資源」の適正管理・効果的な資本投下を行います	(16)中身の見える化 >「透明性の高い」運営を行います

今年度については、コロナ禍の閉塞感のある中においても、当法人らしくU-17のある方法での評価を行いました。

(評価方法)

☀(晴れ)・・・達成できた(取り組めた)

☔(にわか雨(弱い雨))・・・一部は取り組めた(あまり達成できなかった)

☁(霧)・・・達成できる方法が見つからない

※上記6つ以外の天気は使用しない。

☁(曇り)・・・ほぼ達成できた(一部達成できなかった)

🌧(雨)・・・取り組めなかった

⚡(雷)・・・当初予定になかったが取り組みに迫られ急遽対応した

I. 法人運営

目 標	“よいことは継続し、そうでないことはぐんぐんに改善する”
-----	------------------------------

1. 取組:

項 目					
(12)経営マネジメント～理念に基づいた経営～ (15)人材育成・活用 (10)連携・共生・貢献 (14)ICT(情報通信技術)・ロボット・機器(ノリフィングケアを含む) (16)中身の見える化					
評価			具体的な取組内容		振り返り
取組 前期	取組 中期	取組 後期			
			毎月 随時	①幹部会議・月例会等の開催	➢月例会 :12 回開催、幹部会議:12 回開催(うちオンライン 3 回)
	/	/		②外部会計監査の実施	➢12 回受審(全てオンライン) 内部経理・予算監査 1 回(5 月 22 日)、監事監査 1 回(5 月 26 日)
/	/	/		③社会保険労務士労務顧問契約	➢Email 等による指導、相談(訪問指導 1 回、ほぼ全てオンラインであったが、スムーズに連携できた)
/				④職場の環境整備・働き方の改善 ➢「みえ働きやすい介護職場取組宣言」事業所 ➢採用活動の推進(就職が「タンス、フェア等)	➢宣言内容:“働き方を改善して、仕事と家庭の両立を図る” ➢集合形式:0 回参加、オンライン形式:1 回参加(2 月 21 日) オンライン見学: 2 回、オンライン面接:4 回 ➢公益社団法人全国老人福祉施設協議会「潜在介護福祉士復職支援プログラム」施設紹介動画提供(11 月、三重県老人福祉施設協会を通じて) ➢高齢者雇用:14 名、障がい者雇用:5 名、短時間勤務者雇用:13 名 ➢ボランティア:3 名 実習生: 0 名 職場体験: 0 名
 	 	 		➢就労の機会の創出(業務切り分け等) ➢受入推進	➢高年齢者雇用:14 名、障がい者雇用:5 名、短時間勤務者雇用:13 名 ➢ボランティア:3 名 実習生: 0 名 職場体験: 0 名
				➢育成活動 ・研修受講、学びの機会	➢オンラインの活用が進み、研修の受講機会が得られた(2.「研修受講状況報告」参照)
				・個別育成計画	➢個別目標→各部署管理職と共有→学びの機会につながった
				・他職種、他業種との意見交換の機会	➢意見交換・情報交換:

				・三重県医療保健部ライイハーション課・公益財団法人三重県産業支援センター(5月15日) ・三重県医療保健部ライイハーション課(8月12日・2月26日) ・合同会社 JunglePlus(9月4日・10月30日・1月22日・2月24日) ・トリプル・ダブリー・ジャパン(1月21日) ・公益財団法人三重県産業支援センター(2月15日) ・N&F テクノサービス株式会社(2月16日) ・エニミル QOL リレーションズ 株式会社(2月16日) ・ブルーオーシャンシステム株式会社(2月22日)
			・スタッフ向けメルマガ	・NAS(ネットワークアタッチストレージ/ネットワーク接続ハードディスク)
			・研究報告・事例報告の推進	・取組報告 ・意見交換会 ・取材
				・取材:株式会社三菱総合研究所・株式会社 Moff(12月2日) - 中日新聞(12月12日) - 三重県社会福祉協議会「福祉みえ 3月号」(1月20日) - バレーズ株式会社(2月8日) - 日本医療企画(2月26日)
				・取材:株式会社三菱総合研究所・株式会社 Moff(12月2日) - 中日新聞(12月12日) - 三重県社会福祉協議会「福祉みえ 3月号」(1月20日) - バレーズ株式会社(2月8日) - 日本医療企画(2月26日)
			・外部機関との連携促進	・取材:株式会社三菱総合研究所・株式会社 Moff(12月2日) - 中日新聞(12月12日) - 三重県社会福祉協議会「福祉みえ 3月号」(1月20日) - バレーズ株式会社(2月8日) - 日本医療企画(2月26日)
			⑥委員派遣・講師派遣	・取材:株式会社三菱総合研究所・株式会社 Moff(12月2日) - 中日新聞(12月12日) - 三重県社会福祉協議会「福祉みえ 3月号」(1月20日) - バレーズ株式会社(2月8日) - 日本医療企画(2月26日)

				委員会委員、三重県福祉人材センター運営委員会副委員長、介護福祉人材確保対策連携推進協議会委員 協会けんぽ三重支部:健康保険委員 食器におけるアクセシブルデザインの標準化に関する研究会:アクセシブルデザイン食器機構委員会委員 【特養係 生活相談員】 ➢ 三重県老人福祉施設協会:21 世紀委員会委員 【特養係 生活相談員】 ➢ 鈴鹿亀山地区広域連合:要介護認定審査会委員 【居宅介護支援 介護支援専門員】 ➢ 鈴鹿亀山地区広域連合:要介護認定調査員 ➢ 計 12 回開催
				⑦衛生委員会の開催 ⑧予防・健康づくり・介護相談 ➢ 石薬師ふれあいフェスティバル→中止
   	   	   	⑨地域公益的活動 ➢ 雇用推進(業務分担の推進) ・ 障がい者雇用 ・ 高年齢者雇用 ・ 短時間勤務者 ➢ 低所得者等に対する支援 ➢ 認知症高齢者に対する支援 ➢ 地域見守り・啓発活動の継続	➢ 障がい者雇用率:3.97%(法定雇用率基準 2.2%) 高年齢者雇用:14 名 短時間勤務者雇用:13 名 ➢ 社会福祉法人による利用者負担軽減:2 名 みえ福祉の「わ」創造事業参画 ➢ 認知症介護実践者研修: 1 名修了 ➢ スクールサポーター、鈴鹿市行方不明高齢者等のためのあんしんネットワーク活動参画等
				⑩ICT、タブレット、パソコン、機器、AI 等の導入・利活用・効果検証の推進 ➢ 4 月～オンラインアプリを活用(家族面会、研修、採用面接、見学、会議・ミーティング等) ※使用実績:Zoom、GoogleMeet、MicrosoftTeams、Skype、FaceTime、LINE ビデオ通話 ➢ 2 月:ZoomPro アカウント取得 ➢ 「当会のテクノロジー一覧」参照
				⑪ IoT 化 (モノのインターネット(Internet of Things))に向けた取り組み ➢ 介護記録ソフト「BlueOceanSystem」と見守り支援タブレット「眠り SCAN」の自動記録化 ➢ 介護記録ソフト「BlueOceanSystem」と排せつ予測デバイス「Dfree」との連携デバイス化 ➢ 非接触型デジタル体温計の介護記録ソフト「BlueOceanSystem」への自動記録

				➢ デジタル血圧計の介護記録ソフト「BlueOceanSystem」への自動記録
			⑫ ニース側(介護現場)からニース側(開発・研究部門)への情報発信、意見交換	➢ 介護記録ソフトとの連携:介護記録ソフトメーカー、見守り支援機器メーカー、排せつ予測デバイスメーカー(当ホームページ「グリーンホームだより」をご参照ください) ➢ ウェアラブル端末の実現可能性:シンクタンク、各メーカー、産業支援機関、自治体等との意見交換
			⑬ 抱えない介護の推進	➢ 装着型移乗支援ロボット「HAL」「マッスルスーツ」 非装着型移乗支援ロボット「i-PAL」「SASUKE」 リフト浴、機械式浴槽(個浴・車いす・寝台) 床走行式電動リフト、モジュール型車いす、介助バー、タッチアップ、スライディングシート・ボード等活用
			⑭ 啓発活動	➢ (ワンデマンド形式)「みえ介護フェア 2020(Web 版)」においてロボット活用動画作成参画(11/9～11/15) ➢ 当ホームページ「情報公開」ページにて各取組を動画配信(11/3～) ➢ 三重県産業支援センター主催 Web セミナーにおいて見守り支援ロボットについてコメント(2/17) ➢ 新型コロナウイルス等感染症予防(4月7日、4月17日、5月9日、5月14日、6月25日、6月26日、7月1日、7月26日、8月3日、8月15日、8月16日、9月3日、11月23日、11月28日、12月5日、12月9日、12月16日、12月26日、1月6日、1月8日、1月10日、1月14日、1月22日、2月5日) ➢ 熱中症防止(5月15日) ➢ 三重県ライイノベーション課「みえメディアカレッジ」(10月24日、11月2日) ➢ 三重県警「交通事故防止」(4月15日、6月6日) ➢ 警察庁・三重県警「特殊詐欺防止」(7月31日) ➢ 「電話詐欺防止」(8月7日) ➢ 三重県福祉人材センター「介護有資格者再チャレンジ」(4月21日) ➢ 鈴鹿市「まいにちやろにい〜フレイル予防」(6月24日) ➢ 厚生労働省「知って、肝炎予防」(5月31日) ➢ 「看護の日(国際看護協会)」(5月12日) ➢ 三重県・三重県社会福祉協議会「みえ介護フェア 2020」「介護の日(厚生労働省)」(10月14日、11月9日) ➢ 三重県海水養魚協議会「三重の養殖鯛いっぱい食べてみい!」(6月26日、7月22日)

				➢厚生労働省「介護分野における生産性向上 e-ラーニング」(7月2日) ➢「身体拘束適正化」(6月8日、6月9日、6月10日、6月11日) ➢その他 ICT・メールに関する普及啓発等																																												
 	 	 	⑮リスクマネジメント(介護事故防止・身体拘束廃止・非常災害対策・防犯対策等)	➢オンライン面会：104回(上期31回、下期73回) ➢介護事故防止・身体拘束廃止・非常災害対策・防犯対策については通年取り組むことができた 非常用バッテリー購入(11月25日) ➢消防訓練(5月6日、6月8日、10月7日) ➢感染症:新型コロナウイルス感染事例発生(ショートステイ利用者 1名及びデイサービスセンター利用者7名(三重県クラスター29事例目)) ・当ホームページ及び文書(各6回)、ニュースター(2回)において、皆様に細やかに情報を公表並びに状況についてご報告いたしました ・現在は収束しております ・ショートステイの状況(令和3年3月31日現在) 令和3年1月7日発生 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検査対象者</th><th rowspan="2">検査済数</th><th colspan="2">検査結果</th><th rowspan="2">未検査数</th></tr> <tr> <th>陽性数</th><th>陰性数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ご利用者</td><td>28</td><td>1</td><td>13</td><td>0</td></tr> <tr> <td>施設職員等</td><td>28</td><td>28</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>計</td><td>28</td><td>1</td><td>41</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> ・デイサービスセンター(令和3年3月31日現在) 令和3年1月13日発生 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検査対象者</th><th rowspan="2">検査済数</th><th colspan="2">検査結果</th><th rowspan="2">未検査数</th></tr> <tr> <th>陽性数</th><th>陰性数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ご利用者</td><td>107</td><td>7</td><td>100</td><td>0</td></tr> <tr> <td>施設職員等</td><td>89</td><td>0</td><td>89</td><td>0</td></tr> <tr> <td>計</td><td>196</td><td>7</td><td>189</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> ・物資の提供、支援状況 「支援いただきました皆様に感謝申し上げます」 4月3日:厚生労働省(布マスク) 4月6日:厚生労働省(布マスク) 4月21日:三重県(サージカルマスク) 5月11日:厚生労働省→三重県(アルコール製剤)	検査対象者	検査済数	検査結果		未検査数	陽性数	陰性数	ご利用者	28	1	13	0	施設職員等	28	28	0	0	計	28	1	41	0	検査対象者	検査済数	検査結果		未検査数	陽性数	陰性数	ご利用者	107	7	100	0	施設職員等	89	0	89	0	計	196	7	189	0
検査対象者	検査済数	検査結果		未検査数																																												
		陽性数	陰性数																																													
ご利用者	28	1	13	0																																												
施設職員等	28	28	0	0																																												
計	28	1	41	0																																												
検査対象者	検査済数	検査結果		未検査数																																												
		陽性数	陰性数																																													
ご利用者	107	7	100	0																																												
施設職員等	89	0	89	0																																												
計	196	7	189	0																																												

 	 	 		6月24日:三重県(サージカマスク) 6月27日・7月1日:中日ア化〃株式会社様 (サージカマスク) 8月4日:中日ドラゴンズ谷元選手 (冷感タレ) 9月19日:鈴鹿市立鈴西小学校ふれあい委員のみなさん(お手紙) 10月24日:三重県みえメディアカトリ(フェイスシート) 11月2日:三重県みえメディアカトリ(天然ヒナ香る除菌スプレー) 12月7日:厚生労働省→鈴鹿亀山地区広域連合(サージカマスク・プラスチック〇ブ) 1月11日:鈴鹿保健所(サージカマスク・プラスチック〇ブ・ガウン・アルコール製剤) 1月11日:全国老人福祉施設協会→三重県老人福祉施設協会(感染症対策セツト) 1月11日:三重県老人福祉施設協会(ガウン) 1月13日:介護ショッポまんまる様(サージカマスク・プラスチック〇ブ) 1月15日:鈴鹿亀山地区広域連合(サージカマスク・プラスチック〇ブ) 1月17日:鈴鹿市(ガウン) 1月17日:社会福祉法人伊勢湾福祉会様(お手紙・菓子) 1月18日:ガウン・プラスチック〇ブ・ヘアキャップ(社会福祉法人慈童会様) 1月18日:三重執鬼株式会社様(エナジードリンク) 1月19日:陽だまり長屋鈴鹿様(ガウン・プラスチック〇ブ) 1月19日:鈴鹿シルバーカ豊壽園様(お手紙・ガウン) 1月19日:介護老人保健施設鈴の丘様(ガウン) 1月19日:鈴鹿市デｲフサービス事業所協議会様(有限会社テクトサービス様)、有限会社ワイト介護様、社会福祉法人伊勢湾福祉会様(ガウン・プラスチック〇ブ) 1月21日:メッセジ(鈴鹿市長) 1月28日:介護ショッポまんまる様(ガウン) 2月2日:株式会社デｲフサービスりんくモリタ様(プラスチック〇ブ) 2月10日:厚生労働省→鈴鹿亀山地区広域連合(サージカマスク・プラスチック〇ブ) 2月12日:ご利用者ご家族様(アルコール除菌シート・アルコール製剤)
			⑯情報発信(ホームページ・ニュースター等)、改善(目標:15万ページビュー)	➤ホームページ(令和2年4月1日～令和3年3月31日) ・ページ数:46,790 ・ページビュー数:312,485PV ・「グリーンホームだより」記事掲載数:806本 ・「情報公開」掲載数:20本 ➤ニュースター:特養12回、デｲフサービスセンター12回発行
			⑰SDGs(持続可能な開発目標)に向けた取組	➤取組に向けた研修不参加(集合型であったため)

 	 	 	4 月	▶特養 50 床→80 床、ショートステイ 40 床→10 床 ▶外国人介護人材に関する情報収集	▶4 月 1 日転換 ▶現状確認、業者等の説明の機会延期
 	 	 	5 月	▶創立 27 周年記念行事 ▶理事会	▶9 日、各ユニット・事業所において小規模単位でイベント開催・行事食を提供 ▶29 日開催
  	  	  	6 月	▶定時評議員会 ▶人事考課(上期) ▶三重三菱自動車販売労働組合様より「眠り SCAN」2 台受贈	▶12 日開催 ▶5 月 2 日～6 月 20 日実施 ▶6 月 25 日
			8 月	▶職員健康診断	▶29 日実施
 	 	 	9 月	▶アンケートの実施(ご利用者ご家族、職員) ▶敬老祝賀会	▶11 月 2 日、当ホームにおいて公表(ご利用者ご家族アンケート) ▶21 日、各ユニット・事業所において小規模単位でイベント開催・行事食を提供
			10 月	▶インフルエンザ予防接種	▶11 月の予定を前倒して実施(10 月 22 日、24 日、28 日)
     	     	     	11 月	▶特養取組報告会・地域報告会/家族懇談会 【グリーンの秋まつりから変更】 ▶スタッフ目標設定 ▶臨時理事会の開催 ▶臨時評議員会の開催 ▶地域に不足している事業の創出	▶新型コロナウイルス感染防止対策により、家族懇談会等を中止し、当ホームで 「情報公開」に Zoom による動画及び抄録・報告資料を配信・掲載 ▶2 日:目標設定実施 ▶10 日開催 ▶26 日開催 ▶ショートステイ増築 20 床計画(理事会、評議員会において提案審議)
 	 	 	12 月	▶人事考課(下期) ▶クリスマス会	▶11 月 2 日～12 月 15 日実施 ▶19 日、各ユニット・事業所において小規模単位でイベント開催・行事食を提供
			2 月	▶夜勤者対象職員健康診断	▶17 日実施
  	  	  	3 月	▶吉田福祉基金様より「車いす」5 台受贈 ▶理事会 ▶評議員会	▶1 日 ▶16 日開催 ▶30 日開催

2. 研修等受講状況

日 程		区 分				方法		研修名等	受講部署等	
		研修	勉強会	外部	内部	現地	オンライン		部署	人数
5 月	8 日		○		○	○		▶「MAKITA 製床拭きクリーナー」デモ(以降、数日試用)	デイサービスセンター	3 名
	23 日		○		○	○		▶「床走行式電動リフト技術指導」	特養係	5 名
6 月	11 日		○		○	○		▶「CHASE(国の科学的介護推進、新 LIFE)勉強会」	特養係	17 名
	12 日	○		○			○	▶「介護保険事業者等集団指導」(ワゲマンド)	総務係	2 名

		○		○			○	➤「介護事業所の経営者が考えるべき自立支援(特別養護老人ホーム)」	特養係	1名
	15日	○			○		○	➤「相談援助が上達する研修会⑥【ハイティックの7原則】」(オンライン研修アカウント)	居宅介護支援	6名
	18日	○			○		○	➤「感染症の予防及び発生時の対応基礎研修②【感染症の基礎知識】」(オンライン研修アカウント)	医務係	4名
	19日	○			○		○	➤「とことん実技のトランスファー研修③」(オンライン研修アカウント)	特養係・ケアセンター	14名
	23日	○			○		○	➤「とことん実技のトランスファー研修③」(オンライン研修アカウント)	特養係・ケアセンター	7名
	24日	○		○		○		➤「福祉用具セミナー 2020」	居宅介護支援	1名
	29日	○		○			○	➤「Future Care Lab in Japan」	総務係	1名
7月	6日		○		○	○		➤見守り支援ツール「Neos+Care」デモ	特養係	11名
	10日		○		○	○		➤見守り支援ツール「眠り SCAN eye」デモ	特養係	5名
		○			○		○	➤「感染症の予防及び発生時の対応基礎研修⑤【高齢者に多い感染症と個別の感染対策】」(オンライン研修アカウント)	特養係	11名
	12日	○			○		○	➤「褥瘡予防のための状況別ポイントチェック」(オンライン研修アカウント)	特養係	3名
	17日	○			○		○	➤「食後の口腔ケア」「異常の早期発見のための観察の視点」(オンライン研修アカウント)	ケアセンター	4名
	21日	○		○		○		➤「福祉用具セミナー 2020」	居宅介護支援	1名
	30日	○		○			○	➤「三重県災害派遣福祉チーム登録員養成研修」	特養係	1名
8月	1日	○		○		○		➤「三重県介護支援専門員協会第6回研修会」	居宅介護支援	1名
	6日	○		○			○	➤「5G・IoTの活用で変わる未来」	総務係・特養係	3名
	19日	○			○		○	➤「介護の基本を身につけるための集中講座①～各論～【食事のケア】」(オンライン研修アカウント)	特養係	1名
9月	1日	○		○			○	➤「Web研修導入セミナー」	総務係・総務係・特養係 医務係	5名
	2日	○		○			○	➤「Web研修導入セミナー」	ケアセンター	1名
	4日	○		○		○		➤「新入社員研修会」	特養係	1名
	7日	○		○			○	➤「看護師のための排せつケアセミナー」	医務係	2名
	11日	○		○		○		➤「安全運転管理者講習」	特養係	1名
	14日	○			○		○	➤「認知症高齢者のケアプラン作成基礎研修⑩【E-Learning】」(オンライン研修アカウント)	居宅介護支援	5名
	15日	○		○			○	➤「新型コロナウイルス感染症対策 名古屋市の事例から考える」	医務係・ケアセンター	2名

	24日	○		○			○	「オンラインポッドキャスト 2020」における新たな採用×定着のかたち」	総務係	1名
10月	2日	○		○			○	「ちば版カトリックミートンク（オンライン開催）」	総務係	1名
	9日	○		○			○	「人権問題及び権利養護に関する研修会」	総務係・特養係	4名
	12日	○		○		○		「次期介護保険制度改正に向けての心構え」	居宅介護支援	2名
	20日	○		○			○	「2021年度介護報酬改定を見据えたデイサービス経営の目指すべき方向性」他2本	特養係・デイサービスセンター	2名
	21日	○		○			○	「科学的介護ウェアセミナー」	デイサービスセンター	1名
	22日	○		○			○	「科学的介護ウェアセミナー」	デイサービスセンター	1名
	23日	○		○		○		「地域権利擁護支援研修」	特養係	1名
	31日	○		○		○		「ケアポイント検」	居宅介護支援	1名
11月	3日		○		○		○	「取組報告 動画撮影・配信」	総務係・特養係・医務係 デイサービスセンター	8名
	9日		○		○	○		「非装着型移乗支援用 HUG」デモ（以降現場デモ機試用）	特養係	11名
	11日	○		○			○	「人材育成研修（ほめ達研修）」	特養係	2名
	13日	○		○			○	「ストック・イノベーション シンポジウム&レッチ」	総務係・特養係	2名
	17日	○		○			○	「10月で考える介護施設における今後の人材戦略」	総務係・特養係	4名
		○		○		○		「ワンストップ展示会・説明会」	居宅介護支援	3名
		○		○			○	「介護施設・事業所の職員向け感染症対策向上のための研修教材」	総務係	1名
	24日	○		○			○	「高生産性×職員満足向上を一挙に実現!!自ら考え、自ら行動する「卓越した組織」のつくり方」	特養係	2名
		○		○			○	「介護現場におけるリスクマネジメント研修会」	特養係・医務係	6名
	29日	○			○		○	「看取りケア研修実践編」(オンライン研修アカウント)	特養係	1名
	30日	○		○			○	「あらゆる世代を巻き込み、チームをまとめる中間管理職の在り方」	特養係	2名
12月	3日	○		○			○	「労務管理講座 今法人に求められる働き方改革の進め方」	特養係	1名
	4日	○		○			○	「外国人介護職員雇用に関する法人向けオンライン研修会」	総務係	1名
	8日	○		○			○	「肌トラブル予防と感染対策を考慮した新しい排せつケアの提案」	特養係	1名
		○		○			○	「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）研修会」	総務係・特養係・医務係	10名
	9日	○		○		○		「ケアポイント検」	居宅介護支援	1名
	16日	○		○		○		「福祉用具セミナー 2020」	居宅介護支援	1名
	25日	○		○			○	「認知症の BPSD 評価について」	総務係	1名
	29日		○		○	○		「介護保険制度について」	デイサービスセンター	3名

1月	13日	○		○		○	➤「新型コロナウイルス発生時の動画集」	総務係	1名
	14日	○		○		○	➤「新型コロナウイルス感染症対策セミナー」	総務係・デジタルセンター	4名
	20日	○		○	○		➤「福祉用具セミナー 2020」	居宅介護支援	1名
	21日	○		○		○	➤「外国人介護福祉士採用と修学資金貸付に関する web 説明会」	特養係	1名
		○		○		○	➤「口腔ケアに関する研修会」	総務係・特養係 医務係・デジタルセンター	15名
	24日	○		○		○	➤「日本人の栄養摂取基準 2020 年版の特徴と改正ポイント」	総務係	2名
2月	4日	○		○		○	➤「みえぎん新春講演会」(ワグデマンド)	総務係	1名
	5日	○		○		○	➤「介護事業所の経営品質向上セミナー」	総務係・特養係	2名
	6日	○		○		○	➤「認知症の行動・心理症状の評価について」	総務係	1名
	8日	○		○		○	➤「災害時福祉支援リターン養成講座」	特養係	4名
	9日	○		○		○	➤「気持ち良い排せつへ向けたケア研修会」	総務係・特養係	3名
	11日	○		○		○	➤「デジタル向け介護 DX(デジタル・トランスフォーメーション)セミナー」	デジタルセンター	1名
	12日	○		○		○	➤「高齢者施設における新型コロナウイルス接種に係る Web 説明会」	医務係	4名
	15日	○		○		○	➤「介護報酬改定を見据えた「働きやすさ」という名の人材戦略セミナー」	総務係・特養係	2名
		○		○		○	➤「高齢者施設における新型コロナウイルス接種に係る Web 説明会」(ワグデマンド)	総務係	1名
	17日	○		○		○	➤「社会福祉施設における介護味・ICT の活用」	特養係	1名
		○		○		○	➤「デジタル社会に向けたヘルスケアセミナー」	特養係	1名
	18日	○		○		○	➤「介護分野の ICT 普及促進セミナー」	特養係	1名
	19日	○		○		○	➤「感染症対策セミナー」	デジタルセンター	1名
			○	○		○	➤「東海北陸ブロック老協 21 世紀合同委員会」	総務係	1名
	25日	○		○		○	➤「経営リターン養成塾フォローアップ研修」	総務係	1名
3月	10日	○		○		○	➤「動画コンテンツ制作 & 活用セミナー①」	総務係・特養係	2名
	17日	○		○		○	➤「動画コンテンツ制作 & 活用セミナー②」	総務係・特養係	2名
複数の月・日にわたる研修		○		○	○		➤「主任介護支援専門員更新研修」(延べ 8 日)	居宅介護支援	1名
		○		○	○		➤「主任介護支援専門員研修」(延べ 12 日)	居宅介護支援	1名
		○		○	○		➤「介護支援専門員資質向上研修」(延べ 5 日)	居宅介護支援	2名
		○		○		○	➤「認知症介護実践者研修」(延べ 25 日)	デジタルセンター	1名
		○		○	○		➤「福祉機器 web 2020」(ワグデマンド)	総務係・特養係	5名
		○		○		○	➤「専門職フォローアップ 防災研修」(延べ 2 日)	特養係	1名
		○		○		○	➤「PT 対談ライブセミナー」(ワグデマンド)	総務係・医務係・デジタルセンター	7名

○		○		○	➤「わらわ展示会」(セミナーあり・ワデマント)	総務係・特養係	2名
○		○		○	➤「給食従事者研修」(ワデマント)	総務係	2名
○		○		○	➤「介護・在宅医療連携システム開発学講座」(全6回シリーズ)(ワデマント)	総務係	2名
○		○		○	➤「経営戦略セミナー」(ワデマント)	総務係・特養係	2名
○			○	○	➤「身体拘束適正化研修」(6月・12月)	特養係・医務係・新規採用職員	延べ 143名
	○		○	○	➤「Neos+Care 導入講習」	特養係	5名
○		○		○	➤「全国老人福祉施設大会」(ワデマント)	総務係・特養係	2名
○		○		○	➤「介護革命ミライ会議」(ワデマント)	総務係・医務係・デｲｰビｾﾝﾀｰ	8名
○		○		○	➤「Wiseman Online EXPO」(セミナーあり・ワデマント)	総務係・特養係	3名
○		○		○	➤「専門職ﾌｵｰｱｯﾌﾟ ｵﾝﾗｲﾝ防災研修」(2日間)」	総務係	1名

3. 当会のﾚｼﾞｰ導入及び利活用状況一覧(導入年度毎に整理)

年 度	区 分	機 器 名	台 数	利活用部署
平成 19(2007)年度	介護機器	機械式個浴	●ﾎﾞﾗﾝﾃ(ｵｰｼﾞｰ技研株式会社)	2台・2台 特養係・デｲｰビｾﾝﾀｰ
		機械式車いす浴	●ﾌｧｲﾊﾞｽ HK-815(ｵｰｼﾞｰ技研株式会社)	1台 デｲｰビｾﾝﾀｰ
平成 23(2011)年度	介護機器	機械式車いす浴	●ﾌｧｲﾊﾞｽ HK-815[1993 年度導入を更新](ｵｰｼﾞｰ技研株式会社)	1台 特養係
		ﾘﾌﾄ	●床走行式電動ﾘﾌﾄ KQ-781(ﾊﾞｰﾑｳﾝﾄﾊﾞｯﾄﾞ株式会社)	1台 特養係
平成 24(2012)年度	介護機器	機械式寝台浴	●ｵｰｸｽﾙｰｵﾝﾗｲﾝﾊﾞｽ HK-245[1993 年度導入を更新](ｵｰｼﾞｰ技研株式会社)	1台 特養係
平成 26(2014)年度	介護機器	入浴ﾘﾌﾄ	●つるべFR2(株式会社ﾏｲﾄｰ) ※「ﾏﾅｲｽﾞ・ﾏﾅｲｽﾞ WEB(R 元.8)」掲載	3台 特養係
		機械式個浴	●ﾎﾞﾗﾝﾃ(ｵｰｼﾞｰ技研株式会社)	追加 3台 特養係(計 5台)
平成 27(2015)年度	介護ﾁｬｯﾄ	装着型移乗支援	●HAL(CYBERDYNE 株式会社) ※「ﾏﾅｲｽﾞ・ﾏﾅｲｽﾞ WEB(R 元.8)」掲載 ※「福祉みえ」(R2.2) 掲載 ※「南伊勢町議会広報誌 R2.8 号」画像掲載	1台 特養係
		非装着型移乗支援	●i-PAL(株式会社今仙技術研究所) ※「ﾏﾅｲｽﾞ・ﾏﾅｲｽﾞ WEB(R 元.8)」掲載	1台 特養係

		コミュニケーション	●メタロミットロブ・パロ(株式会社知能システム) ※「みえ介護フェア 2018・2019・2020」使用 ※「H29・H30・R 元 石薬師ふれ愛フェスティバル」使用 ※「レハレシ-ス」株式会社コンテンツ きらッノート (H30.7)」画像掲載 ※「メーイホ・メーイホ WEB(R 元.8)」掲載 ※「福祉みえ」(R2.2)掲載	1 台	特養係
平成 28(2016)年度	介護機器	リフト	●床走行式電動リフト KQ-781(パロマウントヘッド株式会社)	追加 2 台	特養係
平成 29(2017)年度	介護味ッ	装着型移乗支援	●マッスルズ(株式会社イノイス) ※「みえ介護フェア 2018・2019・2020」使用 ※「メーイホ・メーイホ WEB(R 元.8)」掲載	1 台	特養係
	介護機器	入浴リフト	●つるべーFR2(株式会社トリート) ※「メーイホ・メーイホ WEB(R 元.8)」掲載	追加 1 台	特養係(計 4 台)
	その他機器等	機能訓練器具	●Redcord®(インターリ株式会社) ※「メーイホ・メーイホ WEB(R 元.8)」掲載	9 台	デイサービスセンター
			●HUR スマートタッチ(インターリ株式会社) ※「メーイホ・メーイホ WEB(R 元.8)」掲載、「福祉みえ」(R2.2)掲載	(5 機種)5 台	デイサービスセンター
			●アシストウォーカー(インターリ株式会社) ●リカバントバイク(ヤマトヒューマン株式会社)	1 台 1 台	デイサービスセンター デイサービスセンター
平成 30(2018)年度	介護味ッ	見守り支援	●眠り SCAN(パロマウントヘッド株式会社) ※「メーイホ・メーイホ WEB(R 元. 8)」掲載 ※「みえ介護フェア 2020」動画紹介 ※「レハレシ-ス」株式会社コンテンツ きらヶア研究所 (R3.3)」画像掲載	9 台	特養係
	機器	音声入力リフト	●VoiceFun(ND ソフトウェア株式会社) ※「ND ソフトウェア株式会社ホームページ」活用画像等掲載	6 ヲ他ス	居宅介護支援
		インカム	●インカム(株式会社 JVC ケンウッド) ※「メーイホ・メーイホ WEB(R 元.8)」掲載	3 台	デイサービスセンター
	その他機器等	低濃度ワグン発生装置	●Airness(シツアヘルスケアファーマシー東日本株式会社)	2 台	特養係
令和元(2019)年度	介護味ッ	見守り支援	●眠り SCAN(パロマウントヘッド株式会社) ※「みえ介護フェア 2020」動画紹介	追加 4 台	特養係(計 13 台)

			※「バレーズ株式会社コンテンツ きらケア研究所 (R3.3)」画像掲載		
	ICT	介護ソフト	●Wiseman(株式会社ワイズマン)	8台	総務係・特養係・居宅介護支援・デイサービスセンター
			●BlueOceannSystem(ブルーオーシャンシステム株式会社) ※「みえ介護フェア 2020」動画紹介 ※「バレーズ株式会社コンテンツ きらケア研究所 (R3.3)」画像掲載	17台	総務係・特養係・医務係・デイサービスセンター
		ネットワークストレージ	●NAS[ネットワーク HDD](富士ゼックス三重株式会社)	—	全部署
		通信機器	●モバイル Wifi ルーター(ソフトバンク株式会社)	1台	総務係
その他機器等	通信機器	●イヤホン(株式会社 JVC ケンウッド)	7台	特養係・医務係	
令和 2 (2020)年度	介護タブレット	見守り支援	●眠り SCAN(パルマウント株式会社) ※「みえ介護フェア 2020」動画紹介、「R3.3 バレーズ株式会社コンテンツ きらケア研究所」画像掲載	追加 2 台	特養係(計 15 台)
			●Neos+care(ノリツプロビジョン株式会社) ※「みえ介護フェア 2020」動画紹介	5 台	特養係
		排せつ支援	●排せつ予測デバイス Dfree(トリプル・データブリュ・シヤパン株式会社) ※「みえ介護フェア 2019」紹介、「R3.3 バレーズ株式会社コンテンツ きらケア研究所」画像掲載】	1 台	特養係
		非装着型移乗支援	●ウェアラブル - SASUKE(マッスル株式会社)	1 台	特養係
	ICT	体力測定デバイス	●Moff バンド・モット(株式会社 Moff)	5 本	デイサービスセンター
	介護機器	通信機器	●モバイル Wifi ルーター(ソフトバンク株式会社)	追加 2 台	総務係・特養係・居宅介護支援(計 3 台)
	ICT	タブレット	●iPad(Apple) ※「R2.12 中日新聞取材(オンライン面会)」	2 台・2 台	特養係・居宅介護支援
		アプリ	●Zoom Pro アカウント(Zoom) ※「R2.12 中日新聞取材(オンライン面会)」	1 台	総務係
	その他機器等	サーマルカメラ	●検温サーマルカメラ(株式会社正興サービス)	1 台	総務係
		自動掃除機	●ロボットクリーナー(株式会社マキタ)	1 台	デイサービスセンター
		空気清浄機(加湿・燻蒸機能付)	●オゾンエアクリア JS-7000(株式会社ジエイ・シー・アール)	2 台	デイサービスセンター

		非接触デジタル体温計	●非接触体温計 TM-101B(オムロンヘルスケア株式会社)	6 台	特養係・医務係・デｲﾋﾞｾﾝﾀｰ
		デジタル血圧計	●手首式血圧計(オムロンヘルスケア株式会社)	6 台	特養係・医務係・デｲﾋﾞｾﾝﾀｰ
		勤怠管理システム(ICタイム カード・アプリ)	●TeletimeEZ X'sion(加ナ株式会社)	3 台	全部署
		通信機器	●ｲﾝｶﾑ(株式会社 JVC ケｹｯﾄﾞ) ※「ﾏﾃﾞｲｻﾙ・ﾏﾃﾞｲｻﾙ WEB(R 元.8)」掲載】	追加 16 台 追加 15 台	特養係(計 23 台) デｲﾋﾞｾﾝﾀｰ(計 18 台)

II. 特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム 【第一種社会福祉事業】

II-(1)特養係

目 標	“チームケア(多職種連携)でワンチーム(ONE TEAM)～みんなでプライドを持って、質の高いケアに取り組もう！～”
-----	--

1. 取組

項 目					
(15)人材育成・活用		(14)ICT(情報通信技術)・ロボット・機器(ノリフィングケアを含む)		(9)ユニットケア	(16)中身の見える化
(13)非常災害対策					
評価			具体的な取組内容		振り返り
取組 前期	取組 中期	取組 後期			
☀	☀	☀	通年	> 歯科衛生士より技術・ポイント指導(毎月) > 働き方改革の推進 > 施設外研修への個別参加促進(→スタッフへのフィードバック)	> 歯科衛生士からの指導をケアに反映できた(毎月) > 業務切り分けを実施 > 「I.3.当会のテクノロジー導入及び利活用状況一覧」をご参照ください > 「I.2.研修等受講状況」をご参照ください
☁	☁	☁		> 施設内研修会、勉強会の開催(スタッフの技術や考え方、やる気向上) > 適切な人材配置、人事交流(ユニット間異動等) > スタッフの離職率の低下、リクルート(人材確保)効果、他施設への情報発信 > 各種イベント等における情報発信 【ICT】 > 介護ロボットの活用 > ケア記録の共有化・効率化向上 > 各数値などのデータ等による根拠に基づいた介護の実践 > 外部における記録業務	> 各ユニット会議等において開催 > ご入居者:ケアカーを1.9:1配置(令和3年3月31日現在)異動については最低限の実施とした > ホームページ等において発信 > ホームページ等において発信 > BlueOcenSystem 活用、クラウドサーバー内を含めて各職種間で連携 > Dfree を利用しながら膀胱内の尿量を見える化し対応CHASE(新 LIFE)に取り組んだ(5月1日～) > サービス担当者会議時に各自宅において使用(BlueOcenSystem、モバイル WiFi ルーター)

				▶ ｵｰﾍﾞｯﾄ・機器との連動(IoT 化) 【ｵｰﾍﾞｯﾄ・機器】 ▶ 要介護者と介護スタッフの双方に優しいケア方法の実践(ノリテイングケア等)	▶ はなれ棟にて試行(BlueOcenSystem + 眠り SCAN + Dfree) ▶ SASUKE、床走行式電動リフト、リフト浴等機器使用(現在のテクノロジーに限界もあった)
				▶ 透明性の高い部署、ユニット内の運営 ▶ ユニット会議(毎月) ▶ 業務改善会議【ユニットリーダー会議】(毎月) ▶ ユニットのフェイカリストに基づいた運営 ▶ ユニット費の活用	▶ トップダウン、ボトムアップ双方の仕組、各職員の理解ができてきた ▶ 定期開催(毎月・オンライン併用) ▶ 第一木曜日に定期開催(毎月・オンライン併用) ▶ 毎月確認 ▶ 各ユニット全額活用
 	 	 		▶ 情報発信(ホームページ・ニュースター等) ▶ 方針・研修案内資料・最新情報等の共有(※NAS、メールシステム等の活用を含む) ▶ 面会、介護相談員、見学、職場体験、ボランティア、移動販売等、来訪者の増加	▶ ホームページ「グリーンホームだより」135 回掲載・ニュースター 11 回配布 ▶ NAS・メールシステム活用済 ▶ 面会・見学等については原則オンライン対応とした 職場体験・ボランティア・介護相談員・移動販売:中止
				▶ ｵｰｶﾞの日常使用 ▶ 「福祉避難所運営」「DWAT 参画」に向けた行動 ▶ 災害時要援護者に配慮した避難所運営・被災地派遣活動ができるように日頃から心構えと知識、体制を強化(定期的な研修会、勉強会)	▶ すずらんユニット・すみれユニット・医務係・総務係において試行 ▶ 三重県 DWAT:2 名登録、研修会:1 名受講 ▶ 図上訓練実施(1 回)、さらに実施に必要あり
			4 月	▶ 新入職員研修 ▶ ｵｰｶﾞ導入 ▶ 介護看護記録システムとの連携 ▶ 消防訓練	▶ 採用時及び外部研修受講 ▶ すずらんユニット・すみれユニット・医務係・総務係にて試行(はなれ棟では従来より使用) ▶ 活用できた、CHASE(新 LIFE)に参画(5/1～) ▶ 実施(15 名)
			5 月	▶ 創立 27 周年記念行事(9 日)【家族懇談会】 ▶ 消防用設備等法定点検	▶ 行事食のみ提供(各ユニット) ▶ 一部延期し実施
			6 月	▶ 人事考課 + スタッフ面談の実施 ▶ 身体拘束適正化研修	▶ 随時開催している。 ▶ 各ユニット会議等において実施 ▶ 臨時消防訓練実施
			7 月	▶ 研究大会等での先進的事例取組報告	▶ 開催延期、ホームページにおいて取組報告動画を公開
			8 月	▶ アンケートの実施(家族・職員) ▶ 消防訓練	▶ 実施、家族アンケートの結果はホームページで公開 ▶ 実施(10 月・11 名)
			9 月	▶ 図上訓練・HUG	▶ ユニット会議等で定期的に開催

☁	☁	☁	11月	> スタッフ目標設定 > 特養取組報告会・地域報告会／家族懇談会 > 消防用設備等法定点検	> 実施 > 取組報告動画:Zoom レーディングによりホームページ公開、家族懇談会は中止 > 一部延期し実施
☀	☀	☀	12月	> 人事考課＋スタッフ面談の実施 > 身体拘束適正化研修 > クリスマス会(19日)【家族懇談会】	> 実施 > 11月会議等で定期的に開催 > 行事食のみ提供(各11月)
☀	☀	☀	1月	> 非装着型移乗支援ロボット・見守り支援ロボット導入 > 次年度事業計画プレゼンテーション	> 非装着型移乗支援ロボット「SASUKE」1台導入(すずらん11月・すみれ11月、3月) > 見守り支援ロボット「Neos+Care」5台導入(いちよう11月・ひのき11月・ショートステイかえで11月)、10月) > 見守り支援ロボット「Neos+Care」5台追加導入(いちよう11月・ひのき11月・ショートステイかえで11月)、3月) > 実施
☀	☀	☀	3月	> 安全運転セミナー、腰痛予防セミナー > 事業所評価	> 実施(DVD・オンライン) > 実施

※入居判定委員会(少なくとも3月毎又は必要な都度開催)

2. 各11月の取り組み評価

(1) こすもす11月(特養)

① 11月ケアチェックリスト

○	△	×
47	6	0

② 11月運営計画

☁	☁	☁	> 介護看護記録システム(ブルーオーシャン)を活用し、情報の整理と書類の削減及びケアの統一を図る
☁	☀	☀	> 活動・参加の項目に該当するご入居者の生活の充実をする事で、生活の質の向上を目指す
☁	☁	☀	> 11月からの外出を推奨し、ご入居者が自分の意志で外出したりできる体制を作る
☁	☁	☁	> ご家族への状況連絡を密にとり、入居者の状況や必要なものなどが家族様にわかりやすい体制をつくる
☀	☀	☀	> MVLでの排せつを促進し、QOLの向上を目指す
☁	☁	☁	> 認知症の改善に資するケアに関してスタッフの理解を深めて実践する
☁	☁	☁	> 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)に関して11月にて勉強会を行い、スタッフの理解を深め、ご入居者・ご家族に満足の行く最期を過ごしていただく

☁	☁	☁	➤非常災害対策の「福祉避難所運営」に関して理解を深めると共に、実践的に訓練をする機会を持つ
☁	☁	☁	➤移乗支援ベルト(SASUKE、HAL)、床走行式リフト、インカムなどを用いてスタッフ、ご入居者の負担が少なくなるケアの提供と活用するための試行をする
☁	☁	☁	➤施設外研修をスタッフが受講し知識や技術の向上と共に仕事に対するモチベーションアップに繋げる
☀	☀	☁	➤こすもすユニットにて勤務している周辺業務担当者に、協力ユニットを含めての担当する事で、人材の有効活用をする
☁	☁	☁	➤ホームページでの発信(グリーンホームだより)を各スタッフがそれぞれ発信することで見える化を進める

(2)ひまわりユニット(特養)

①ユニットケアチェックリスト

○	△	×
44	8	1

②ユニット運営計画

☀	☀	☀	➤スタッフひとり一人がユニット型特養ホームの在り方を理解し、法人理念に沿ったケアを行うことができる
☀	☀	☀	➤ご入居者の希望に沿い音楽を楽しむ会への参加などの趣味の活動を行うことで日常生活動作の維持、生活の質の向上につなげるとともに生活に楽しみを持つことができるケアを提供する
☀	☀	☀	➤入居者が希望時に外出できるよう支援する
☀	☀	☀	➤一年の節句や年中行事に応じたおやつを召し上がっていただき、食への意欲を向上するとともに季節を感じていただくことで認知症ケア(特に見当識障害へのアプローチ)につなげる
☀	☀	☀	➤アドバンス・ケア・プランニングについて理解し、実践することで“いい最期だった”と感じられるケアを提供する／看取り後に偲びのカーニバルを開催する
☁	☁	☁	➤非常災害対策についてスタッフひとり一人が理解し、ケアを行うことができる
☀	☀	☀	➤ご入居者のケア方法を介護看護記録システム(ブルーオーシャン)の24時間シートに反映させ、ケアの内容、方法が誰にでもわかり、実施できるようにする
☀	☀	☀	➤スタッフの適正に応じた業務を割り振ることで業務を効率化するとともにスタッフひとり一人のスキル向上や仕事に対する自信に繋げる

(3)けやきユニット(特養)

①ユニットケアチェックリスト

○	△	×
42	6	5

②ユニット運営計画

☀	☀	☀	➤法人理念及び老人福祉法第33条をユニットスタッフが理解をした上で介護業務にあたる
---	---	---	---

☁	☁	☁	➤介護看護記録システム(フルオーシャン)を活用し、情報の整理と書類の削減及びケアの統一を図る
☁	☁	☀	➤椅子の高さを必要に応じて調整し、正しい姿勢で椅子に座って食事できる環境を用意する
☁	☁	☁	➤入居に際し、ご家族へ持ち込みの家具や個人持ちの食器等を用意していただく事で、自分の住まいとご入居者が思える環境づくりを進める
☂	☂	☂	➤布パツの利用を促進する
☀	☀	☀	➤排せつをご入居者個人の能力に合わせてできるだけトイレでの排せつをしていただく
☁	☁	☁	➤煮炊きのできるキッチンを用意し、ご入居者がいつでも利用できる環境をつくる
☀	☀	☀	➤入浴に関して、個々のデータをスタッフが把握し、スタッフによる差がなく入浴をご入居者に行っていただく
☁	☁	☀	➤ユニットからの外出を推奨し、ご入居者が自分の意志で外出したりできる体制を作る
☁	☁	☁	➤認知症の改善に資するケアに関して勉強会を行い、実践する
☁	☁	☁	➤看取りに関してスタッフの知識や理解を高めて、入居者にその人らしい最期を過ごしていただける環境をつくる
☁	☁	☁	➤非常災害時の対応に関して、スタッフに周知を図り有事の際に的確な判断ができるようにする
☁	☁	☁	➤ホームページでユニット内の情報を発信し、家族様や地域の皆様への見える化を進める

(4)さくらユニット(特養)

①ユニットケアチェックリスト

○	△	×
42	4	7

②ユニット運営計画

☀	☀	☀	➤法人理念を基盤とした観念やケアの徹底
☀	☀	☁	➤その時の入居者の状態に合わせたケアを提供する／全スタッフが統一したケアを提供できる
☀	☀	☀	➤入浴の仕方や好みを把握し希望に添える対応をする
☀	☀	☀	➤業務の分担化
☀	☀	☁	➤移乗支援ベルト(マッスルスリ)とスライディングボードの活用／ノーリフティングによる移乗支援
☁	☁	☀	➤非常災害対策
☁	☁	☀	➤更なる高みへ質の向上「認知症ケア」

(5)すずらんユニット(特養)

①ユニットケアチェックリスト

○	△	×
41	9	3

②ユニット運営計画

			➤その時の入居者の状態に合わせたケアを提供する／全スタッフが統一したケアを提供できる
			➤昼間の活動を提供し夜間良眠できる／いつも見る顔ではない人と社会的関係をつくることで楽しみが増える
			➤ご入居者の入浴方法の一覧表を作成し、スタッフによる入浴での介助の差異をなくす
			➤ご入居者の状態を面会時にユニットスタッフから伝えることで信頼関係を築く／家族の意見などもしっかり聞き取ることで家族満足度の向上を図る／「また来たい」と思ってもらえる対応をすることで面会回数が増える
			➤ユニット内の情報を確実に周知させる
			➤美味しく食事をするには口腔内の環境を知る／口腔ケアで誤嚥性肺炎の予防ができる
			➤美味しく、自ら食べて飲む環境をつくる
			➤ご入居者のできることを奪わない環境づくり
			➤ご入居者、スタッフの負担が軽減され、安心したケアができる
			➤スタッフの無駄な動きが減る
			➤ユニットスタッフとこまめにコミュニケーションを取り話しやすい雰囲気をつくる

(6)すみれユニット(特養)

①ユニットケアチェックリスト

○	△	×
39	13	1

②ユニット運営計画

			➤その時の入居者の状態に合わせたケアを提供する／全スタッフが統一したケアを提供できる
			➤昼間の活動を提供し夜間良眠できる／いつも見る顔ではない人と社会的関係をつくることで楽しみが増える
			➤ご入居者の入浴方法の一覧表を作成し、スタッフによる入浴での介助の差異をなくす
			➤ご入居者の状態を面会時にユニットスタッフから伝えることで信頼関係を築く／ご家族の意見などもしっかり聞き取ることでご家族の満足度が上がる／「また来たい」と思ってもらえる対応をすることで面会回数が増える
			➤ユニット内の情報を確実に周知させる
			➤美味しく食事をするには口腔内の環境を知る／口腔ケアで誤嚥性肺炎の予防ができる
			➤美味しく、自ら食べて飲む環境をつくる
			➤ご入居者のできることを奪わない環境づくり
			➤ご入居者、スタッフの負担軽減となり安心したケアができる
			➤スタッフの無駄な動きが減る
			➤ユニットスタッフとこまめにコミュニケーションを取り話しやすい雰囲気をつくる

(7) いちようニット(特養)

① ニットケアチェックリスト

○	△	×
51	2	0

② ニット運営計画

			➤ スタッフひとりひとりが日常生活全般において、当たり前のことを当たり前だと感じることができ、当たり前のことを丁寧におこなうことで質の高いサービスの提供に繋げる／その上で経営理念を意識した判断を行ない地域信頼の向上に繋げる
			➤ ショートステイから特養への転換に伴い、個別ケアに対するより深いケアの実践／1 ニット 10 名の顧客に対してひとりひとりの生活習慣や好みに合わせたケアを行い、QOL の向上に繋げる
			➤ ショートステイから特養への転換に伴い、スタッフひとりひとりの看取りに関する知識の向上＋ケアの充実化を図る
			➤ 人材育成の充実化を図る／部署内での勉強会の毎月開催や、研修への派遣に取り組みスタッフひとりひとりの専門性を向上させる／スタッフひとりひとりの長所を生かした役割の設定を行い能力の充実化、責任性の向上を図る
			➤ ホームページを活用し施設の暮らし、取り組みを地域に発信していく／ホームの中身の見える化
			➤ 介護看護記録システム(ブルーオーシャン)の活用や、アクティブシアを活用した介護業務の切り分けを行うことで、より質の高いサービスの提供に繋げる

(8) ひのきニット(特養)

① ニットケアチェックリスト

○	△	×
47	6	0

② ニット運営計画

			➤ 経営理念を理解し意識することで、ひのきニットに関わる全ての職員が同じ方向に向かって進むことができる／判断に迷った際には経営理念に沿って対応する
			➤ 当たり前のことを当たり前に行う
			➤ ご利用者が、日中退屈な時間を持て余さない
			➤ 業務の仕分け(切り分け)の促進→実行
			➤ マンパワーのみ(人)に頼らない介護(働き手の減少への対応と対策)…介護機器
			➤ 全ての職員の基礎的な理解を深め、底上げをする(1 年間の研修計画)
			➤ 居室のしつらえ(共同整容スペース以外に個々の整容スペースを設ける)

Ⅱ-(2)医務係

目 標	“最期まで「その方らしく」安心して生活していただけるよう支援していきます”
-----	---------------------------------------

1. 取組

項 目					
(1)口腔ケア (2)水分・食事ケア (3)排せつケア (4)認知症ケア (5)機能訓練・生活リハビリ(歩行含む)・介護予防・健康づくり (6)床ずれケア (7)看取りケア (10)連携・共生・貢献					
評価			具体的な取組内容		振り返り
取組 前期	取組 中期	取組 後期			
			通年	～誤嚥性をはじめとする呼吸器感染を予防する～ > 歯科医師との連携 > 歯科衛生士からの指導、歯科衛生士への相談(毎月) > 口腔内の十分なケアに基づいた適切な口腔ケア方法の選択	> 新型コロナウイルス感染防止対策により定期検診延期 > 毎月、歯科衛生士の指導をケアに反映
				> 嘱託医との連携 > 水分摂取の効果の実証、運動機能の変化の把握等により、負担軽減につなげる	> 定期採血による全身状態の把握と状態変化時は嘱託医と連携しケアを施行 > 介護職員と協力し水分促しを強化できた会議等で研修を行った
				> 嘱託医との連携 > 排せつの自立という視点で排泄ケアを検討 > チームでの調整 > 排せつケアを改善することで何が起こるかの見通しを示す	> 介護職員と協力し排せつケア実施 > 多職種連携により個別の排せつ支援計画を作成、計画に沿ったケアを実施
				> 嘱託医との連携 > 苦痛緩和や意思決定の尊厳を保持したケアをチームで提供	> エット会議において研修実施 > 多職種連携し、ケアを実施
				> ご入居者・ご利用者一人ひとりに合わせた機能訓練計画書に基づき、自立支援の視点で介助提案・指導等の実施 > グリーンの音楽会・ボイストレーニング、生活リハビリ	> 理学療法士による専門性の高い機能訓練、生活リハビリを実施 > 個別機能訓練の他、グループでの棒体操・レクリエーション実施 > 感染対策を実施しながら一部開催
				> 嘱託医との連携 > 褥瘡発生予測のためのリスクアセスメントの定期実施(スケール使用) > 定期的なアセスメント(過程の評価・ケアの見直しに反映)	> 多職種連携し個別の褥瘡計画書を作成、計画書に沿ったケアを実施

				➢ 嘱託医との連携 ➢ QOL(生活の質)と SOL(生命の尊厳)の双方の尊重 ➢ 多職種によるチームアプローチの実践 ➢ 偲びのかつらを行い、スタッフの精神的負担軽減を図る／以降の看取りケアに活かす	➢ 嘱託医、介護職員と協力しケアを実施 ➢ 工社会議において勉強会実施(2回) ➢ ACPの取り組み状況をホームページにて公開(11月)
				➢ 共通の目標に向かってそれぞれの専門性を発揮できるような体制づくり	➢ 多職種と連携して専門性を発揮できた。
			4月	➢ 排せつ支援加算に向けた取組 ➢ 褥瘡マネジメント加算の算定に向けた取組	➢ 11月より算定開始 ➢ 12月より算定開始
			5月	➢ 認知症の基礎知識に関する勉強会	➢ 工社会議において研修実施
			6月	➢ 普通救急救命講習	➢ 感染防止のため延期
			9月	➢ 感染症の防止・まん延防止に関する勉強会	➢ 会議等で最新の感染状況、対策を発信(毎月)
			10月	➢ 歯科医師による検診	➢ 感染防止のため令和3年度上期に延期
			11月	➢ インフルエンザ予防接種	➢ 10月(利用者)、11月(職員)に実施

※入居者健康診断(4月)、感染症対策委員会(原則毎月)

Ⅱ-(3) ■ 調理栄養部門

目 標	“ストップ・フレイル 健康で長生きをめざして”
-----	-------------------------

1. 取組

項 目					
(1)口腔ケア (2)水分・食事ケア (3)排泄ケア (5)機能訓練・生活リハビリ(歩行含む)・介護予防・健康づくり (6)床ずれケア (16)中身の見える化					
評価			具体的な取組内容		振り返り
取組 前期	取組 中期	取組 後期			
    	    	    	通年 ～おいしく食べていただくために～ ▶口腔内・嚥下状態・義歯の状態等の観察 ▶多職種連携で口腔機能の把握に努める ▶「口から食べること」の維持・継続を目指す(適切な食事形態の提供等) ▶歯科衛生士からの口腔状態の伝達・指導、歯科衛生士への相談(毎月)		▶1ヵ月毎に観察・聞き取る機会を設けた ▶ミールアウト(食事の観察)、その都度ケア・看護職員と相談実施 ▶ご利用者の要望を第一にその時の状態にベストな食形態を模索し、提供 ▶歯科講習への参加、質問、相談(毎月)
     	     	     	～低栄養予防・フレイル予防・認知症予防の視点から、十分な水分・食事摂取を目指す～ ▶個人に合わせた食事内容の模索 ▶「おいしい・楽しい」と感じられるような料理・企画を提案 ▶ミールアウトの実施 ▶栄養ケアマネジメントの実施 ▶給食会議、食中毒の防止・まん延防止等委員会の開催(毎月)		▶ご利用者・ご家族への聞き取りにて可能な限り対応 ▶周年祭・敬老祝賀会・クリスマス会・おせち料理・各ユニット・利用者様の要望に合わせたイベント(お好み焼・ホットケーキ・どら焼き・ぼたもち etc.) ▶状態に変化がある時等は頻回に対応 ▶個々の栄養状態を判定し、早めの対応・改善に努めた ▶毎月の業務改善会議にて情報発信(給食会議)
  	  	  	▶食事内容の工夫 ▶水分摂取量の把握 ▶できるだけ下剤に頼らない、排便コントロール・サポート		▶毎月の献立に季節感の感じられるものを取り入れた ▶介護記録システムの読み取り ▶水分・センサ茶・牛乳・バナナ・食物繊維等、対象者に効果のあるものを提供
			▶食具・提供方法の提案により、食事動作の自立を図る		▶食具選定、購入をサポート

				➢健康寿命の延伸に向けて、地域を支える専門職として貢献する(健康相談)	➢地域のイベント中止により未実施
				～栄養状態の低下を早期に捉える～ ➢栄養スクリーニング・アセスメントの実施 ➢多職種・チームで褥瘡予防・悪化防止・改善を図る	➢食事摂取量・体重・臨床検査値等データ収集 ➢多職種による褥瘡ケア計画の作成・実施
				～よりよいチームを実行する～ ➢状況・情報の可視化を図る(モニタリング票、食種一覧、食事箋等による情報共有)	➢食種一覧の配布(毎月)、食事箋はNASで連携・共有
				➢食中毒対策委員会(原則毎月)	➢業務改善会議にて開催(毎月)
			4月	➢栄養士の増員	➢4月より1名増員
				➢非常災害用備蓄品更新	➢非常災害用いりい食品(お粥)の更新
			5月	➢食中毒の防止・まん延防止等の勉強会の開催(於:給食会議内)	➢テイクアウト食品利用についての食中毒予防、作業毎の手指衛生や温度管理の重要性を啓発
				➢害虫駆除	➢5月26日実施
			9月	➢非常災害用備蓄品更新	➢非常災害用いりい食品(ハート粥)の更新
			11月	➢害虫駆除	➢11月24日実施
				➢給食施設運営状況報告書提出	➢11月24日提出

Ⅲ. 特別養護老人ホーム鈴鹿グリーンホーム 短期入所生活介護事業所【第二種社会福祉事業】

目 標	“自分で考え・自分で行動し・自分から変える。変わる。『お客様にどのような付加価値を提供できるのか！？』”
-----	--

1. 取組

項 目					
(15)人材育成・活用		(14)ICT(情報通信技術)・味`ット・機器(ノリテイグ`カを含む)		(16)中身の見える化	
評価			具体的な取組内容		振り返り
取組 前期	取組 中期	取組 後期			
☁	☁	☁	通年	> 5S 活動の徹底 > 業務の仕分け、切り分け ・高年齢者、障がい者、外国人材、短時間勤務者等・ハ`ット`メイク、清掃、物品補充、簡単な介護業務等を分担 > 勉強会の開催・研修受講(人事考課目標設定等の個々の希望を踏まえる)	> 取り組んだがまだまだの箇所もあった > 業務仕分け・業務の切り分けは進んだ、今後も継続的に取り組む > 概ね実施できた
☀	☀	☀		> 介護記録システムによる記録時間の削減・ハ`ー`化(介護リフトの活用とシステムの更なる進化を業者側に提案) > 抱えない介護(ノリテイグ`)による`カ`等のリ`低減(非装着型移乗支援味`ットの利活用・新たな見守り支援味`ット等の利活用)	> 記録時間の短縮はできた システムについてベンダ`側に IoT 化等の提案を行った  > スタ`ディングリフト、床走行式電動リフトを活用した 一定以上の効果を得られたが、現在のテクノロジーに限界もあった
☀	☀	☀		> ホーム`ジ` (週間 1 記事以上を目指す) > 暮らしの様子、睡眠レ`ートの発信等	> 『グリーンホームだより』を定期的に更新できた ｺｯ`禍でありながら地域への情報発信ができた
☀	☀	☀	4 月	> DFree 導入(目標:ワ`デ`バ`化)、利活用、研究 > 眠り SCAN のワ`デ`バ`化、研究	> Dfree、眠り SCAN、BlueOceanSystem の利活用が進んだ
≡	≡	≡	7 月	> 研究大会等での先進的事例取組報告	> 開催延期
≡	≡	☀	1 月	> SASUKE(非装着型移乗支援味`ット)導入、利活用、研究 > Neos+Care(見守り支援味`ット)導入、利活	> すずらん`ット・すみれ`ットにおいて使用 > 10 月 5 台導入(3 月さらに 5 台追加導入し、計 10 台)

				用、研究	
--	--	--	--	------	--

2. 各ユニットの取り組み評価

(1) かえでユニット(ショートステイ)

① ユニットケアチェックリスト

○	△	×
50	3	0

② ユニット運営計画

			➤ ユニットケアや法人理念を理解するため社会人としてのあり方を勉強し規律性を向上させる
			➤ 在宅生活の維持継続のため機能訓練、生活リハビリを勉強し取り入れる
			➤ 認知症ケアを行うために病型分類質問票 DDQ43 を使用し状態に合わせた介護を行う
			➤ 見守り支援ベッド(眠り SCAN)と排せつ予測デバイス(Dfree)を活用し、夜間の排せつ状況と眠りの様子を見える化し、個人に合った排せつ介助を行う
			➤ 持ち込みの荷物が整理しやすいようにハンガーラックを購入し使用する
			➤ テクノロジー - 【介護看護記録システム(ブルーオーシャン)、見守り支援ベッド(眠り SCAN)、排せつ予測デバイス(Dfree)等】を活用することで働き手の減少へ対応する

IV. デイサービスセンター鈴鹿グリーンホーム 【第二種社会福祉事業】

目 標	“Smart Work(スマートワーク)”と“サービスの質向上”の両立を図る
-----	--

1. 取組

項 目					
(1)口腔ケア (2)水分・栄養ケア (4)認知症ケア (5)機能訓練・生活リハビリ(歩行含む)・介護予防・健康づくり (8)ケアマネジメント (14)ICT(情報通信技術)・タブレット・機器(ノリフィングケアを含む) (15)人材育成・活用 (16)中身の見える化					
評価			具体的な取組内容		振り返り
取組 前期	取組 中期	取組 後期			
                   					

☁	☁	☁		➢ケアマネジメントの徹底 ➢ICFの活動・参加領域を意識したプランニング	➢BlueOceanSystemによる記録等により一定の改善は視られたものの十分ではなかった(次年度、LIFEへの取組でさらなる改善を図る)
☁	☁	☀		➢介護看護記録システム・機器・HUR スマートタッチ・各デバイス・アプリ等を使いこなす ➢抱えない介護(ノリリディング・ケア)によるけが・ミス等の減少…自立支援介護の実践、機器等の利活用 ➢工夫して新たな活用方法を見出す	➢記録、機能訓練等において利活用した ➢「できることはやって頂く」という考えのもと、利用者支援を実施 事業所におけるクスター事例の経験により、ケアの小規模化(グループサイン)を図ったことにより、利用者に対する接し方等に改善がみられた。 ➢職員間の意見交換実施
☀	☀	☀		➢同業・他業を問わず、様々な方々との意見交換の実施 ➢介護看護記録システム(R1～継続):ヘルパレス、記録時間の削減、二度手間の削減、蓄積されたデータをケアや会議で活用する ➢インカムの使用(R1～継続/常時) ➢Moffバントの利活用(R2 新規/体力測定時) ➢負担の少ない介護の実践	➢各種機器を使用することにより職員の負担軽減につながった 特にインカムについては常時使用し、連携をうまく図ることができた ➢ヘルム-ムの環境改善につながった
☀	☀	☀		➢介護業務の分担化の促進(パートタイム職員の雇用) ➢毎週水曜日ノ残業デーの啓発活動(月末・月初を除く)	➢事務員等配置により、業務を分担することができた ➢全職員意識を持ち取り組んでいた
☁ ☀ ☀ ☀ ☀	☁ ☀ ☀ ☀ ☀	☁ ☀ ☀ ☀ ☀		➢左記項目及び日々のケア等をホームページやニュースレター等により発信(ホームページへの取組掲載(毎月5記事以上)、NewsLetterの発行(毎月)) ➢ボランティア等の受け入れ、地域交流の推進 ➢HURトレーニングレポート等(R2 新規) ➢Barthel Indexによる評価(継続) ➢事例・研究報告	➢随時情報発信することができた ホームページへの取組掲載(掲載116本≧目標60本) NewsLetterの発行(11回) ➢感染症対策により受け入れなし ➢機能訓練指導員によりケアマネジャー等に情報提供 ➢同上 ➢ホームページにおいて動画公開(11月)
☀	☀	☀		➢勉強会の開催・研修会の全職員受講 ➢Eメール等の一斉配信機能の活用した(情報伝達・共有、メルマガ等の配信(R2 新規/定期))	➢Web 事業所内研修:全職員受講 ➢Eメール、Zoom等の活用により実施、IT事故においても可能な限り情報伝達・共有を図ることができた
☀ ☀ ☀ ☀	☀ ☀ ☀ ☀	☀ ☀ ☀ ☀	年2回以上	➢消防訓練 ➢福祉避難所運営訓練 ➢消防用設備等法定点検	➢4月、10月実施 ➢IT事故のため未実施 ➢2回実施
☀	☀	☀	6月	➢人事考課+スタッフ面談の実施	➢実施

			7 月	➤研究大会等での取組報告	➤J01+禍により延期、取り組みについてホームページにおいて公開
			9 月	➤アンケートの実施(ご利用者・ご家族、職員)	➤実施済
			11 月	➤スタッフ目標設定	➤実施
				➤事業所見学会・家族懇談会	➤J01+禍のため未実施
			12 月	➤人事考課＋スタッフ面談の実施	➤実施
			2 月	➤安全運転セミナー・腰痛予防セミナー	➤実施(DVD・オンライン、3 月)
			3 月	➤事業所評価	➤実施

V. 在宅介護支援センター鈴鹿グリーンホーム 居宅介護支援事業所【公益事業】

目 標	“Smart Work(スマートワーク)”と“サービスの質向上”の両立を図る
-----	--

1. 取組

項 目					
(8)ケアマネジメント		(10)連携・共生・貢献		(14)ICT(情報通信技術)・スマート・機器	
(15)人材育成・活用		(16)中身の見える化			
評価			具体的な取組内容		振り返り
取組 前期	取組 中期	取組 後期			
☀	☀	☀	通年	➢利用者へのこまめなヒアリング活動(毎月) ➢介護サービス事業所との連携継続 ➢利用者に対する公平公正な地域の社会資源や介護サービス事業所の情報提供 ➢ケアマネジャー相互の連携による地域に対する相談支援および緊急対応体制の強化 ➢ツールを使用した業務効率化および時間の有効活用/モバイル WiFi ルーターを活用した事業所外での記録業務の実証実験 ➢定期運営会議・居宅内研修の継続(毎月)、種外部研修会への参加(医療面や障害施策・地域共生サービスを含む)、地域ケア会議や西部圏域合同事例研究会・ケアプラン点検・各種ケース検討会への事例提供など協力推進 ➢困難ケースへの対応と、地域とのつながりを意識した連携推進・強化 ➢研修内での各担当ケースの開示及び定期的な相互担当ケースへの同行訪問・困難ケースへの複数のケアマネジャーの関与 ➢介護支援専門員実務者研修の実習生の受け入れ ➢介護支援専門員の増員	➢コロナ禍のため訪問以外の方法で実施(電話・Eメール) ➢地域の社会資源や事業所など情報共有、連携が取れた事業所複数紹介し、文書で説明、情報提供を行った ➢スマートフォン活用(7台):LINEWORKS 活用し、情報共有・連携を図ることができた ➢モバイル WiFi ルーターの活用はなし ➢音声入力ソフトの活用はできた ➢コロナ禍、感染予防の観点からオンライン、Zoom 活用し、研修・検討会に参加(毎月数回、積極的に実施)
☀	☀	☀		➢鈴鹿市保健福祉部長寿社会課・鈴鹿亀山地区広域連合・鈴鹿市西部地域包括支援センター・地域の民生児童委員・他事業所との連携 ➢地域の中の各種社会資源の情報収集及び連携強化	➢地域包括支援センターと連携し対応 ➢地域と連携し事業所の介護支援専門員の関与 ➢困難ケースに事業所の介護支援専門員の関与 ➢同行訪問実施、困難ケースへの複数CM関与 ➢要請は伝えるも依頼はなかった ➢退職者あり ➢関係機関各所、他事業所との連携を図り情報共有は取れた ➢収集した社会資源は居宅内回覧しファイルに追加

			➢医療機関・医師会・歯科医師会・各サービス事業所等との連携 ➢地域内の他居宅介護支援事業所との連携 ➢車椅子等の無料貸し出し事業の継続 ➢徘徊高齢者等の安心ネットワーク活動への協力 ➢認知症啓発活動への取り組み(認知症キャラバンメイト連絡協議会・研修会等への参加地域の各種団体の求めに応じ、無償で認知症サポーター養成講座の開催(必要に応じ鈴鹿市もしくは地域包括支援センターとともに合同開催/キャラバンメイトフォローアップ連絡会への出席) ➢利用者に有用・必要な情報の発信(ホームページ、法改正や架空請求・リコール・防災などの情報提供・注意喚起、研修参加の報告、他部署も含めた法人内の行事、季節の話題の発信) ➢介護予防普及啓発事業と連動したハイリスク高齢者へのアプローチ ➢担当職員の補充による体制の維持	➢情報共有、連携強化は概ねできた ➢Zoom 研修も行い、情報共有・連携を図った ➢17 件 ➢実績あり、概ねできた ➢情報共有し協力継続 ➢JIT禍のため集合研修はなし - Zoom での研修に積極的に参加した ➢積極的に情報発信、注意喚起を行った - 法人内行事はJIT禍のため自粛、情報発信を行った ➢包括との連携を図り、新規依頼者の対応を行った ➢なし
☁	☁	☁	➢音声入力ソフトやアプリ等の活用 ➢RPA導入による業務効率化と負担の軽減、時間外勤務の適正化と余暇の充実 ➢在宅ワークや事業所外ワークの実証実験 ➢AIケアの活用に向けた情報収集 ➢ストレスコントロールの取り組みによる笑顔を意識した対応	➢VoiceFun、アプリ等活用 ➢意識して行った ➢環境が整わず、Zoom による担当者会議は不具合あり ➢情報収集を行った ➢意識して行った
☁	☁	☁	➢事業所内研修 ➢同行訪問 ➢研修、勉強会の受講 ➢三重県介護支援専門員協会への加入(1 名) ➢西部圏域合同事例研究会・ケアポイント点検・外部研修への適宜参加 ➢各ケアマネジャーから参加希望する外部研修情報を収集(研修参加については法人内への報告回覧とともに、ホームページによる報告) ➢介護支援専門員実務者研修対象者の受入れ	➢毎月 1 回必ず実施 ➢引継ぎで対応、JIT禍のため情報共有にて対応 ➢オンラインで積極的に参加した ➢継続加入 ➢ケアポイント点検：1 回(12 月 9 日) - 合同事例研究会：ゆずりは居宅介護支援事業所と開催(Zoom・1 月 21 日) ➢実施 ➢受け入れの意思表示を行ったが該当者はなかった

				▶介護保険制度や利用の仕組み等(消費増税も含む)の周知徹底と利用者・家族への説明 ▶鈴鹿市の日常生活支援総合事業(地域包括ケアシステム)の周知徹底と利用者・家族への説明 ▶ホームページ等による情報発信	▶実施 ▶実施 ▶あまりできておらず今後の課題とする
			6月	▶人事考課＋スタッフ面談の実施	▶実施
			7月	▶介護保険負担限度額認定の更新・確認 ▶介護保険負担割合証の更新・確認 ▶食中毒・熱中症注意喚起	▶実施 ▶実施 ▶実施
			9月	▶前期特定事業所集中減算チェック	▶実施
			11月 12月 1月	▶スタッフ目標設定 ▶人事考課＋スタッフ面談の実施	▶インフルエンザ・ノロウイルス等 感染症注意喚起 ▶実施 ▶実施 ▶実施
			2月	▶後期特定事業所集中減算チェック	
			3月	▶事業所評価	▶実施

VI. 在宅介護支援センター鈴鹿グリーンホーム【第二種社会福祉事業】

目 標			“地域支援事業における介護予防普及啓発事業の実施” “高齢者見守り体制整備業務の実施”		
1. 取組					
項 目					
(5)機能訓練・生活リハビリ(歩行含む)・介護予防・健康づくり (10)連携・共生・貢献 (16)中身の見える化					
評価			具体的な取組内容		振り返り
取組 前期	取組 中期	取組 後期			
☁	☁	☁	通年	➤【鈴鹿市委託事業】 鈴鹿市介護予防普及啓発事業の受託 ①音楽を楽しむ会・運動クラブ NEXT(毎週火曜日) ②イベント等の生きがい活動など(年に数回程度) ③出張音楽会の地域開催(関係機関の求めに応じ開催、各地域包括支援センターとの連携・合同実施の検討)	➤延べ 618 名 ➤5、6、7、8、9、2 月については、在宅高齢者リハビリ 予防支援事業による介護予防にかかるリーフレット送付 及び電話等による日常の運動状況等確認を実施
☁	☁	☁		➤【鈴鹿市委託事業】 鈴鹿市高齢者見守り体制整備事業業務受託 (鈴鹿市内に居住する高齢者で、介護・保健福祉等の専門職による継続的な見守り等の支援を必要とする方が、自立した生活を送れるよう 365 日 24 時間の見守り体制を整備する)	➤実績なし
☀	☀	☀		➤福祉用具の無料貸し出し等事業の継続 法人独自の取り組みとして、介護度や利用しているサービスの状況に わりなく、どなたに対しても、通院や買い物・旅行などの必要に応じ、 法人が所有する車椅子及びその他の福祉用具を無料で貸し出します ①ポータブルトイレ(貸し出し専用品 2 点)、②車椅子(貸し出し専 用品 3 台)、③シャワーチェア(貸し出し専用品 1 点)、④その他歩行器や 杖など法人所有の福祉用具にて業務に支障のない範囲で必要 に応じ貸与	➤17 件
☁	☁	☁		➤地域会合時における説明やホームページ等による理解促進、情報発信 ➤行政等に対する事業内容の発信	➤30ヶ所により実績なし ホームページによる公開に重点を置いた ➤発信することができた

Ⅶ. 太陽光発電売電事業 【収益事業】

目 標	“適切な管理運営を行う”
-----	--------------

1. 取組

評価			具体的な取組内容		振り返り
取組 前期	取組 中期	取組 後期			
    	    	    	通年	➤【運営管理】適切な維持管理 ➤【収支管理】外部会計監査機関のチェック ➤【収支管理】月次管理 ➤【収支報告】理事会、評議員会における定期報告 ➤【収支報告】関係機関への報告等	➤不具合なし ➤12回実施 ➤12回実施 ➤各2回報告(5月29日・6月12日／3月16日・30日) ➤1月:鈴鹿市資産税課報告